

# 足利市工業用水道事業の紹介

## ○事業の主旨

足利市の工業用水道事業は、既存工場の設備拡充及び首都圏整備法に基づく市街地開発区域の指定を受けて造成した工業団地の工場に給水するために実施されたものである。

## ○事業の経緯

本市は、市のほぼ中心に東西に流れる渡良瀬川を境に北部地区と南部地区に分かれる街であるが、本市の工業用水道事業は昭和41年度には第一期事業に着手、昭和43年度には第二期事業に着手し、北部に給水する常見水源と、南部に給水する田中水源を建設した。

さらに、平成2年度から3年度にかけて、ユーザーへの安定した給水を行うために常見水源と田中水源の配水管を接続し、両水源の相互融通を図った。

近年では、本市の主要な産業となっている繊維、機械・金属、プラスチック製造業において、中国等への生産拠点の移行に伴う産業の空洞化、受注先からのコストダウンの要請をはじめとしたさまざまな経営環境の変化のなかで厳しい環境にあり、当事業の契約企業も平成15年度に大手電機メーカーの撤退により、全体の契約水量の約8%が減少した。現在、わが国の製造業を中心とし、往年の活気を取り戻しつつあるといえるが、現実には、そのまま本市の工業用水道の契約企業に当てはめることはできず、依然として契約水量・実給水量ともに減少傾向にある。

今後も厳しい経営環境が予想されるが、効率のかつ合理的な事業運営に取り組み、ユーザーに対する安定供給を目指していきたい。

## ○水系別の概要

平成19年3月31日現在

水系別	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
常見水系	6	17,760
田中水系	5	4,848
合計	11	22,608

## ○工業用水道施設の概要

常見水源系は、地下水を取水井（筒井戸）より取水し、調整等により各ユーザーへ直接送水している。（導水管総延長距離2,050m、配水管総延長距離5,350m）

田中水源系も同じく地下水を取水井（筒井戸）より取水し、水中ポンプにより各ユーザーへ直接送水している。（導水管総延長距離490m、配水管総延長距離5,662m）

## ○事業の特徴

水源は渡良瀬川左岸（常見水源）、渡良瀬川右岸（田中水源）の二系統で、田中橋に添架した配水管を介して、両水源を接続し、非常時への対応を確保している。

また、地下水による配水能力は36,000m<sup>3</sup>/日で、平均配水量は約16,500m<sup>3</sup>/日、約46%の施設稼働率となっている。

## ○給水区域図

